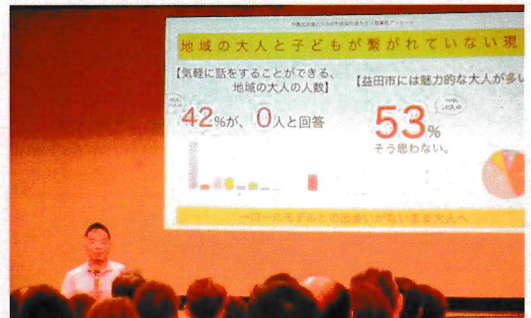


学校運営協議会委員研修会 ～「ひとづくり」「つながりづくり」「まちづくり」～

7月6日、文化福祉センターにて標記の研修会を開催しました。

さまざまな社会教育活動やボランティア活動などで活躍されている大畑伸幸氏（島根県益田市）を講師にお招きし、益田市での実践を中心に、子供たちが将来の地域の担い手となるように今取り組むべきことをお話しいただきました。講演内容の一部を紹介します。

- ・「地域共生社会」を目指して、まずは「つながる」ことから始めよう。
- ・子供たちは、地域人どうしをつなぎ直してくれる力を持っている。
- ・「対話」が大切。「対話スキル」を使ってもっと子供とつながろう。うなずきながら、笑顔で、「へー」「そうなんだ」というふうに。
- ・一緒に活動する中で、子供たちに、人生はもっと豊かになるということを感じ取ってもらいたい。
- ・活動などを通して、安心して暮らせる地域に住んでいるということの子供に味わわせることができれば、将来地域に住む子が増える。
- ・コミュニティ・スクールが、地域の中で子供を育てていく具体的なことを話し合う場になれば、地域の将来につながっていく。



防災について考える ～私たち(中学生)にできること～ 【保田中学校】

保田中学校では、年に2回の避難訓練（4月・11月）を中心に防災について学習しています。これまでの学習では、「自分たちの身を守る」ことを中心にしていましたが、今年は地域全体の人のことも考えた学習内容としました。

5月には、社会福祉協議会の協力により、地域の住人（自治会、公民館、主任児童委員、学校運営協議会委員）の方々と交流し、地域の人たちが心配していることや困っていることなどを聴き、その解決のために中学生としてできることについて話し合いました。高齢者や幼児、障害のある人など、全ての人の防災対策について考え、中学生として実行できる具体的な内容を提案しました。

7月には、有田市防災安全課に協力をいただき、避難所の設営実習を行いました。中学校に保管されている投光器・簡易トイレ・発電機の設置、プライバシー保護のためのパーティションの設置、防災かまどを使った火起こし体験、非常食（アルファ米）の試食などを体験しました。また、大雨による被害を受けた地域の福祉施設「さくらんぼ園」を訪問し、片付けや草引きを手伝いました。

